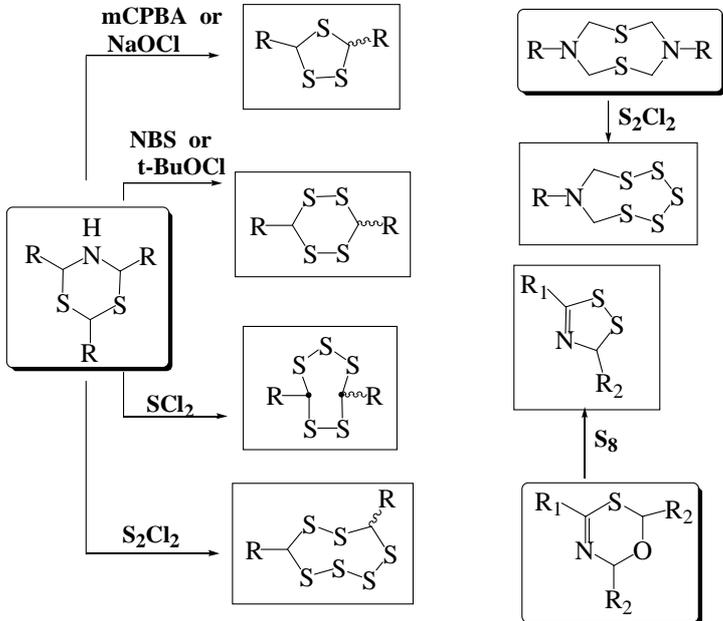


所属・職・氏名	岩手大学工学部 応用化学科 展開化学 教授・滝川 雄治
シーズ名	環状ポリスルフィド類の新規な合成法
シーズの概要	<p>環状ポリスルフィド類は、天然にも多く存在する事が知られており、それらは多様な生理活性の発現が期待されている。例えば、「しいたけの匂い成分」である 1, 2, 3, 5, 6-pentathiepane は「レンチオニン」として知られている。</p> <p>我々は、環状ヘテロアセタール構造を有する環状化合物が熱や酸化剤、酸の作用により選択的な環開裂を起こす事に着目し、これら環状化合物を出発し、目的の環系を有する環状ポリスルフィドの新規な合成法を見出した。</p>  <p>現在のところ、置換基 R がアリール基の場合、5～8員環ポリスルフィド類をほぼ選択的に合成することが出来る。置換基 R がアルキル基の場合に対する反応条件の検討が課題として残っている。</p>
その他参考資料	<i>Tetrahedron Letters</i> , 45 , 6187-6190 (2004)、その他
共同研究機関・企業	なし
特許(出願)番号	なし